

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2013年度 日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習について

- (1) 競技場内での練習は競技役員の指示に従い実施すること。
特に投てき練習については、監督・コーチの付添のもと危険防止に努めること。

3 競技場について

- (1) 競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。
(2) スパイクシューズのピンの長さは9mm以下本数は11本以内とする。走高跳・やり投は12mm以下とし、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

4 招集について

- (1) 招集所は、競技場内100mスタート横スタンド側に設ける。
(2) 招集開始（点呼開始）及び招集完了時刻（移動開始）は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

5000m 10000m		混成競技第1日目 八種競技100m 七種競技100mH			混成競技第2日目 八種競技110mH		
招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了
30分前	20分前		30分前	20分前		30分前	20分前
					七種競技走幅跳		
					1・2	50分前	40分前

種目	予選		決勝	
	招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
棒高跳	120分前	110分前	100分前	90分前
三段跳	60分前	50分前	50分前	40分前
ハンマー投	60分前	50分前	50分前	40分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

(4) 招集の手順

- (ア) 競技者は、上述(2)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、上半身は競技服装になり、ナンバーカード・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。
(イ) ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話、もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことが出来ないため、あらかじめ学校の関係者等に預けておくこと。招集所や競技場所にてこれらの所持が明らかになった場合は、主催者にて預かり競技終了後返却する。
(ウ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
(エ) 代理人による招集の最終確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前までに招集所審判長に申し出ること。
(オ) 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出すること。
(カ) 混成競技の招集は、第1日目および第2日目の最初の種目については、前記の招集時間一覧表の通り招集所で行う。2種目目以降は、混成競技者控室で確認を受け競技役員の指示に従うこと。

5 競技について

- (1) 当該種目出場の競技者以外競技場内に立ち入ることができない。
(2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。

- (3) トラック競技では、すべて写真判定装置（全自動電気計時 0.01 秒）を使用する。
- (4) 5000m、10000mは2グループスタートで実施する。
- (5) フィールド競技の選手紹介は、予選ではアナウンスのみ、決勝ではアナウンスに従い選手紹介を行うが、トップ8決定後の紹介はアナウンスのみとする。
- (6) 跳躍種目及びやり投においては、助走路の外側（走高跳では助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。マーカーは競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外使用してはならない。砲丸投・ハンマー投においては、サークルの直後あるいはサークルに接して主催者が用意したマーカーを1個だけ置くことができる。マーカーは競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外使用してはならない。
- (7) 棒高跳の競技者は、支柱移動申請書を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し競技場所で担当競技役員に提出すること。また、その位置を変更したいときは、担当競技役員に申し出ること。また公式練習は、バーかけ練習（ゴムバー）2回とする。
- (8) 三段跳の踏切板は、予選・決勝とも砂場から10m地点に設置する。
- (9) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で、コーチ席にて認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることは出来ない。また、ビデオ・携帯電話もしくは類似の機器等で映像を用いて助言するも出来ない。違反の場合は失格の対象となる。
- (10) 競技中におきた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内（次のラウンドが行われる種目では15分以内）に当該競技者の監督が、TICに申し出ること。TICからの連絡により審判長が説明を行う。この裁定に不服の場合は、預託金（10,000円）を添え、TICを通じて上訴審判員に文書で申し出ること。
- (11) 提出書類は、下記の通りとする。

提出書類	用意してある場所	提出する場所・時間
棄権届	競技者招集所	競技者招集所へ招集開始時刻までに
支柱移動申請書	競技者招集所	競技場所へ移動後速やかに
2種目同時出場届	競技者招集所	競技者招集所へ招集開始時刻までに
記録証明書交付願	TIC	競技終了後随時（300円）

6 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍種目では胸部または背部のみでよい。また、トラック競技では、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツの右後方につけること。
- (2) 5000m及び10000mは、胸背部特別ナンバーカードを使用する。出場競技者は、正規ナンバーカードを持参し競技者招集所で特別ナンバーカードを受け取る。競技終了後に特別ナンバーカードは回収する。
男女混成競技の最終種目では、それまでの総合順位の順に特別胸ナンバーカードを使用する。このナンバーカードは混成競技係より配布する。競技終了後に特別ナンバーカードは回収する。

7 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

- (1) 上半身の衣類については、製造会社のロゴの大きさは四角形の面積が30cm²以内とし、文字は縦4cm以内、ロゴ全体では縦5cm以内とする。また、製造会社の表示は1カ所のみとする。
- (2) 下半身の衣類については、製造会社のロゴの大きさは面積が20cm²以内で、縦4cm以内のものが1カ所のみとする。
- (3) バックは、製造会社のロゴの大きさは面積が25cm²以内のもので、その表示は2カ所のみとする。
- (4) ソックスには面積5cm²、縦2.5cm以内の社名及びロゴ1カ所とし、シューズあるいは衣類製造会社のいずれかでなければならない。
- (5) 帽子・手袋等には、製造会社の社名・ロゴ等は面積が6cm²以内のものが1カ所とする。
- (6) 競技役員に商標違反を指摘された場合は、その指示に従うこと。

8 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順ならびに跳躍・投てき競技の試技順、及び最終種目までの混成競技のレーン順や試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) フィールド競技（棒高跳を除く）の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、後3回の試技をする。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものを使用すること。やりに関しては競技場に備え付けていないものに限り、検査の上使用

を認める。なおこの際は全競技者が共通で使用できることとし、競技開始90分前から60分前にTICに提出のこと、返却は競技終了後現地にて行う。

- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいない。

10 記録表示について

日本高校記録・予選通過標準記録は明確な標識にて示す。

11 予選通過標準記録

	棒高跳	三段跳	ハンマー投	
	3 m 4 0	1 1 m 6 0	4 4 m 5 0	

- (1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (2) 予選通過標準記録を超えた競技者が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。12番目に同じ記録の競技者がいた場合は、下記の方法で決定する。
- (ア) 棒高跳
- (a) 同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者。
上記(a)でも決まらない時は、下記(b)を適用する。
- (b) 同記録を生じた高さまでの試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者。
上記(b)でも決まらない時、同成績者は決勝に進出できる。
- (イ) 三段跳・ハンマー投
同記録となった競技者の2番目の記録で順位を決める。それでも決まらないときは、3番目の記録で決める。

12 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

棒高跳	予選	2 m 9 0 (練習)	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 3 0	3 m 4 0
	決勝	3 m 2 0 (練習)	3 m 3 0	3 m 4 0	3 m 5 0	3 m 5 5 以降 5 c m

男子混成	1組	1 m 4 5 (練習)	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 6 0	1 m 6 5	1 m 7 0
走高跳	2組	1 m 6 5 (練習)	1 m 7 0	1 m 7 5	1 m 7 8	1 m 8 1	以降 3 c m
女子混成	1組	1 m 2 0 (練習)	1 m 2 5	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0	1 m 4 5
走高跳	2組	1 m 4 0 (練習)	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 3	1 m 5 6	以降 3 c m

- (1) 棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、棒高跳で5cmとする。

13 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の手配に従うこと。

14 表彰及びインタビューについて

- (1) 各種目8位までの入賞者は、表彰を行うので競技用ユニフォームで表彰を受けること。その際、入賞者控所で待機し、競技役員の手配を受けること。また、優勝者の学校の部旗を掲揚するので、ただちに表彰係に持参すること。部旗がない場合は、高体連旗を掲揚する。
- (2) フィールド競技の入賞者は当該競技役員が、混成競技の入賞者は混成競技係が、入賞者控所に誘導する。
- (3) 5000mと10000mの入賞者は結果発表後直ちに入賞者控所に集合すること。

15 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は応急処置を行う。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに記録証交付願を提出し、交付料金300円を添えて申し込むこと。
- (3) 記録は、記録掲示板(競技場正面玄関付近)に掲示する。
- (4) 横断幕掲揚については、サイド・バックの各スタンド上部通路より上に張ること。通路の手すり、最上部のフェンスを使用し、各学校1枚とする。
のぼり旗については、サイド・バック各スタンドの上部通路より上に括り付けること。各学校2本までと

する。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。

(5) 各学校のテントは、サイド芝スタンドに設置を認めるが、ペグ打ちは厳に禁止する。

(6) 棒高跳用ポールの返送については、当日集積場所を連絡する。

(7) 個人情報の取り扱いに関して、本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。また、本大会への参加により、上記の取扱いに承諾を得たものと見なし、氏名・学校名・学年・都道府県名・記録を紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関に公表することがある。また、入賞者に対しては競技場外で取材を受けることがある。